安城市内景況調査結果 （平成24年1月～3月）

〈 業況はマイナス幅が縮小、産業により業況感に格差あり〉

1. 調 査 対 象　　対象企業数　会議所役員・会員事業所　73企業
2. 調査対象時期　　平成24年1～3月期
   (1)前年同期(平成23年1～3月)と比べた今期の状況
   (2)今期と比べた来期(平成24年4～6月)の先行き見通し
3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	23	18	16	16	73
構成比	31.5%	24.7%	21.9%	21.9%	100.0%

	前年同期比（前　回）	前年同期比（今　回）	来期の見通し
業況判断	△44.0	△4.1	△8.2
売上高	△40.0	△4.1	△6.8
売上単価	△48.0	△42.5	△17.8
資金繰り	△29.3	△15.1	△9.0
借入難度	△13.3	1.4	0.0
収益状況	△52.0	△11.0	△9.6
雇用人員	5.3	△12.3	△5.5

安城市内の小規模企業者の今期の業況判断ＤＩ・売上高ＤＩは、△4.1ポイント前回に比べ上昇したが、売上単価ＤＩとも△42.5ポイントと厳しい判断となった。

来期の業況判断ＤＩは、△8.2ポイント、売上高ＤＩは△6.8ポイントとともに前回に比べ下降判断であるが、売上単価ＤＩは上昇し回復の予想である。

凡例▶　30以上　10超える　10～△10　△10超える　△30以上

		全産業		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業	
前年同期対比	業況判断	△4.1		30.4		△27.8		△12.5		△18.8	
	売上高	△4.1		39.1		△27.8		△25.0		△18.8	
	売上単価	△42.5		△26.1		△44.4		△62.5		△43.8	
	資金繰り	△15.1		21.7		△22.2		△50.0		△25.0	
	借入難度	1.4		8.7		0.0		△6.3		0.0	
	収益状況	△11.0		26.1		△38.9		△31.1		△12.5	
	雇用人員	△12.3		△17.4		0.0		△18.8		△12.5	
来期の見通し	業況判断	△8.2		△21.7		△22.2		△6.3		25.0	
	売上高	△6.8		△17.4		△11.1		△12.5		18.8	
	売上単価	△17.8		△26.1		△5.6		△18.8		△18.8	
	資金繰り	△9.6		△8.7		△11.1		△12.5		△6.3	
	借入難度	0.0		0.0		5.6		0.0		△6.3	
	収益状況	△9.6		△26.1		△16.7		△6.3		18.8	
	雇用人員	△5.5		13.0		△5.6		△18.8		△18.8	

※ＤＩとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のＤＩは、25－15＝10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧下さい。